8月6日（木曜日）「ザカリヤの預言」

【新改訳 2017】

ルカ　　1•57－80

「ほめたたえよ。イスラエルの神である主を。主はその民を顧みて、贖いをなし、救いの角を、われらのために、しもべダビデの家に立てられた。‥‥‥幼子よ。あなたもまた、いと高き方の預言者と呼ばれよう。‥‥‥」」（68－76節）

祭司ザカリヤが、妻エリサベツが男の子を出産した時、その子をヨハネと名づけて主のみこころに従い、元のように話せるようにされ、聖霊に満たされて語った預言の一部です。

「救いの角」（69 節）すなわち力あるメシヤの来臨と、今生まれたヨハネが主の先駆者で、その道を備え、神の民に罪の赦しによる救いを知らせる者となることを預言しています（76-79 節）。

これらは、旧約聖書で語られているメシヤ預言が、今まさに成就しようとしているという予告でもありました。神のみわざは突然の奇跡的なものだけではなく、多くの場合、時や段階などもある 懇（ねんご） ろなものです。今日も同様です。

～祈り～

主よ。あなたの預言は、いろいろな段階を経て成就することが多いことを数えられ感謝します。どうか、そのことがわかる信仰であらせてください。

【学びのために】

ヘブル1•1、2参照。（具体的には、詩篇 18•2、マラキ 3•1 ほか、旧約聖書の中で何回も語られていた預言の成就であることを述べています）